



臨時給付金に 専用ダイヤル

公明党横浜市会ニュース
横浜市議員(港南区)

安西 ひでとし

「臨時福祉給付金」と 「子育て世帯臨時特例給付金」

消費増税の影響を軽減するため、公明党が主張し、支給することになった「臨時福祉給付金」と「子育て世帯臨時特例給付金」について、横浜市はフリーダイヤルの専用コールセンターを開設しました(※給付金の概要は表を参照)。

臨時福祉給付金		子育て世帯臨時特例給付金	
【支給対象者】	2014年1月1日時点で住民基本台帳に登録されている人で、①と②に該当する人 ①14年度市民税(均等割)が課税されていない人※ただし、市町村民税(均等割)が課税されている人の扶養親族等は除く ②生活保護等を受けていない人	【支給対象者】	2014年1月分の児童手当(特例給付を含む)を受給しており、13年の所得が児童手当の所得制限額に満たない人
【給付額】	1人につき10,000円 ※基礎年金受給者、児童扶養手当受給者、特別障害者手当受給者等には、5,000円を加算	【支給対象者】	支給対象者の14年1月分の児童手当(特例給付を含む)の対象となる児童 ※ただし、臨時福祉給付金の対象者および生活保護等の被保護者は除く
		【給付額】	対象児童1人につき10,000円

詳細は専用コールセンター ☎0120・400・575 まで

電話番号は、
0120・400・575
で、受付は全日午前9時から午後6時まで(土曜・日曜・祝日・年

末年始も対応)。設置は2015年2月28日までです。日本語だけではなく、英語、中国語、韓国語にも対応しています。

支給の申請期間は7月中旬から15年1月中旬までを予定しており、支給開始は8月以降です。また、両給付金の対象と思われる人には、7月中旬頃に郵送で案内が届く予定です。

小学校に ヘルメット

市立小学校の児童に対し、携帯型防災ヘルメットが配備されます(14年度は1学年分)。



配備されるヘルメットは、落下物や火災から頭部・首を守り、平常時は収納に場所をとらない形状のものになる予定です。

子どもたちの災害時の安全性向上に加え、児童が自らの安全を守る「自助の意識」を養うための学習教材の1つとしての役割も期待されます。

肺炎球菌

ワクチン

高齢者の肺炎球菌による疾病の発生や重症化を予防するため、本年10月から、肺炎球菌ワクチンの接種に公費負担が実施されます。

対象は、65歳以上の方で、65歳、70歳、と5歳おきの年齢での実施となります。

想定では接種費用は3000円、生活保護・市民税非課税世帯は無料と見込まれています。

